

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3,301

TEL : 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

低硫黄石油コークス、中国市場に値上がり継続

1. 低硫黄石油コークス市場

4月は低硫黄石油コークスの値上がりが続いた。下流の負極材料市場の好調による低硫黄石油コークス需要の高まりが値上がりの原因だと見られる。4月29日現在の低硫黄石油コークス価格を表1に示す。

また、低硫黄仮焼コークスの取引が好調だった。その価格がコスト高の影響で4~9%上昇し、1トン当たり10,400~12,000元(20.34~13.47万円。1元=19.56円で換算、以下同。)となった。

表1 低硫黄石油コークス価格(4月29日現在)

メーカー	規格	価格		前月比 (%)
		人民元(元/トン)	円換算(万円/トン)	
大慶石化	1#A	8,800	17.21	17.33
撫順石化	1#A	8,700	17.02	17.57
大港石化	1#A	8,180	16.00	20.29
錦西石化	1#B	7,800~7,900	15.26~15.45	16.30
錦州石化	1#B	7,800	15.26	25.81

出典:ICC 資訊整理

2. 低硫黄石油コークス下流市場

4月、下流の黒鉛電極価格が1トン当たり500~1,000元(0.98~1.96万円)上昇した。しかし、鉄鋼需要の低迷や低利益による電気炉メーカーの資金不足の影響で、鉄鋼市場の黒鉛電極需要は改善されなかった。

鉄鋼メーカーの生産再開などにより5月の黒鉛電極需要量は上昇すると予想されている。これは低硫黄石油コークス市場にとって朗報だ。

4月は負極材料市場の好景気が続いていたが、一部の自動車や電池メーカーではコロナ感染拡大による影響を受けた。この影響は自動車や電池を通じて上流の負極材料にも伝わる見通しである。

そのため5月は、メーカーが高価な原料に抵抗感を示し、低硫黄石油コークスなどの原料購入ペースが緩み、負極材料生産量が大幅に増加する可能性は低いと予想されている。

3. 低硫黄石油コークス市場見通し

黒鉛電極メーカーはコスト高に直面しており、低硫黄石油コークスなどの原料購入は下流の電気炉市況次第とみられている。

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3,301

TEL : 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

5~6 月は一部のメーカーが高価な原料購入に抵抗感を示すようになり、負極材料市場でコロナの影響による不確実性が高まり、短期的に低硫黄石油コークス価格は高止まりすると予想されている。

情報源 : ICC 資訊より整理作成。